

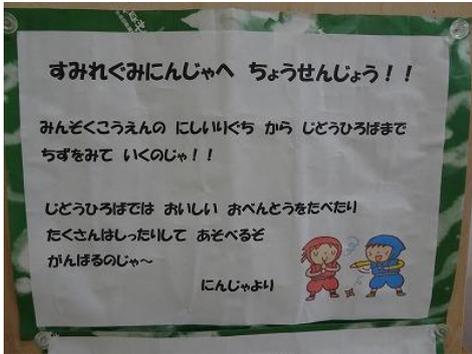
令和4年5月子どもの姿

大和民俗公園へ！

富雄川沿い、矢田総合公園、21世紀公園など、歩いて行った園外保育。

ついに矢田民俗公園まで、歩いて遠足に行きました。

遠足を前に、忍者になって修行をしていたすみれ組の子どもたちに巻物が届きました。



地図にはマーカーがひかれていて、
どうやらその道を進むようです。
ワクワクドキドキのすみれ組。
遠足を楽しみにする気持ちがぐんと
膨らみました。

当日、「歩く修行だ!」と大張り切りのすみれ組。

たんぼぼ組の子どもたちも「しんどくなかった!」「大丈夫!」。しっかり歩くことができました。

到着すると、忍者から届いた巻物を開くすみれ組。「え、何?」「それ何?」とたんぼぼ組。忍者から巻物が届いた話をすみれ組から聞くと、とてもうらやましそう。「私も欲しい」「僕も欲しい」「すみれ組が修行してたから届いてんわ」「頑張ってたら届くのちがう?」と声をかけてもらい、頑張って児童広場まで歩く気持ちも膨らんだようでした。

一緒に見せてもらいながら進んでいきました。すると・・・「あ、おうち!」「おおーあれだ」おうちが姿を見せました!



着いたぞ
入ってみよう

ええー!
屋根が分厚い!

すごい!
藁の屋根や!

昨年の脱穀した後の藁で
藁のおうちを作った経験から
すぐに藁ぶき屋根に気付きました。



かまど、薪、手作業の脱穀機、水がめ、見世、馬屋など、



何軒かのお家を探検し、
昔の文化に触れました。



このお家は、さっきのお家とちょっとちがうね。どこがちがうのかな？

屋根が木でできてる！

2階建てや！

長ーい丸い棒が下から上まで端っこにある！（樋）

「あ、ここや!」「着いた!」地図を確認しながら嬉しそうなお子どもたちでした。「向こうに行ってみよう」とみんなが進んでいくと…



滑り台発見!!

友達と一緒に、何度も何度も大喜びで滑りました。



それを聞いていた友達も見よう見まねでやってみます。おいしい!足もあげて!繰り返しやってみます。

こうやって滑ると早い!!気持ちいい~
(足をあげお尻だけで滑ると抵抗が少ないことにちゃんと気付いています。)



素敵なお寿司



石垣を登る術や!



こするとバナナの匂いのする葉っぱ。
先生に教えてもらいました



「それー」坂を駆け降りる!



ころころころ...転がる転がる!



いっぱい遊んで次はどこへ行く?



山道を通って池に行こう!



分かれ道。どっちへ進む?
池のある方に行きたいよ。



広いところに出た!
「あ、忍者の足跡だ!」



池を発見。行ってみるときれいなお花と葉っぱが浮いていました。スイレンです。

さっき捕まえたカエルさん。カエルさんの大好きな葉っぱとお花だと知って「ここに放してあげよう」放してあげました。



最後は、迷路みたいな菖蒲園をとおし、水車小屋発見。水が通ると回ることを教えてくれた子がいました。よく知っています。

たんぽぽぐみへ 
きのうのえんそくは、よくがんばってあるいたぞ。
せし、みんなのがんばりをしっかりとみてるぞ。
これからも、いろんなことにチャレンジしていくんだぞ!
そして、つよく・たくましくなるのじゅ!!
これからも、みんなのがんばりを 
みているぞごさる。

次の日、頑張ってたくさん歩いたすみれ組とたんぽぽ組にそれぞれ忍者からの巻物が届きました。子どもたちは、大喜び。「やっぱり忍者が見てくれていたんだ。」「昨日、忍者の影見たもん。」「森の中歩いている時、忍者の影見た!」「みんながお部屋にいない間に、そーっとそーと(忍び足をして見せてくれる)きて、おいていったんや。」「頑張ったから来てくれたんや」「小さい組に見せよう!」ととても満足げな様子でした。これからも色々なことに頑張れそうです。



忍者のポーズで忍び足。そして、スタタタ…走って行きました

大切なテントウムシ



アブラムシ探しに行ってもいいですか？



子どもたちは大喜びです。早速小学校にいった探し出しました。けれども、なかなか見つかりません。そこへ、校長先生が来てくださりました。そして、一緒に探しながら、「日向にはいないよ。日陰にいるんだよ」など、いろいろなことを教えてくださいました。おかげで、アブラムシを捕って帰ることができました。その後も、学校に足を運んでいます。



載っていました。その後卵から幼虫が生まれ蛹になり、ある日、登園すると黄色くなって来ていたのです。大喜びで様子を見てみると、観察絵本の通り!20分ほどでうっすらと黒い点が見えてき、その30分後模様が濃くなってき、その10分後にオレンジになってきました。お昼に見るとすっかり赤と黒の点のテントウムシになっていました。図鑑の通りです。この経過を子どもたちは、先生や友達と一緒にたどって見ることができました。

テントウムシをとっても大切に飼っていた子どもたちは、アブラムシを食べることを知り、探しますが幼稚園にはもう見つかりません。そこで、小学校に探しにいいか校長先生にききたい、と言いました。電話で聞いてみることにしました。

校長先生にとっても優しく「いいよ。来てください」と言ってもらい、



テントウムシ図鑑 完成!

その後、しばらくたったある日、職員室に子どもたちが飛び込んできました。「園長先生、ちょっと来て!」行ってみると、、、なんと、テントウムシ図鑑をつくったのだそう。発表のスタンバイをして呼びに来てくれたのでした。それは、子どもたちがテントウムシの卵を見つけてから、様子が変わっていくのを写真に撮りながら観察し続けて来たことをまとめたものでした。交代しながら、たくさんあるページを読んでいってくれました。



次の日、みんなが遊んでいるとお客さんが来られました。Aちゃんが、お客さんに「ねえねえ、これ見て!」と声をかけ、「ねえねえ、みんな、集まって!これしようよ。図鑑図鑑!」とみんなに呼びかけました。そして、今度はお客様の前で読みました。お客様は、大きな拍手と共に「すごいなあ」「詳しく知ってるんやなあ」とほめてくれました。

その次の日は、参観日。今度はお家の人に見てもらって、たくさん拍手をもらいました。



興味をもってテントウムシに関わり、知り得たこと、経験したことをまとめたテントウムシ図鑑。友達と協力して、とても素敵な図鑑ができました。これこそ、経験の豊かさだと思います。子どもたちの遊びや生活が豊かになるとは、こういうことです。これから、また、どんな楽しいことを生み出してくれるのでしょうか。楽しみです。

ゆびえのぐで遊ぼう!

年中たんぽぽ組がゆびえのぐで遊びました。

グルグル描いては消して描いては消して



ジェットコースターだ!



手形ペタペタ。
足跡みたい。



ゾンビだ~



ぬちょ~ぬちょ~



ジャン、紙で写しとってみた!





色混ぜて色の変化を楽しんだり、感触を味わったり、絵や形を楽しんだり、いろいろ楽しんだ子どもたちでした。

サッカー大好き♡

今年度は、奈良クラブのコーチが来てくださいます。
みんないろいろな動きをしながら、ボールと仲良しになっていきます。
試合もやる気一杯！
今年度のサッカーもとても楽しみです。



コーチとお別れした後、すみれ組は「もっとサッカーしたい!」と、もう一度ホールに帰ってきました。しばらくすると、サッカーに参加していなかったりす組がやってきました。そして一緒にすることに。とてもやさしく教えてあげるすみれ組でした。



いす組も遠足へ!

幼稚園から初めて外へ出るいす組さん。ちゃんと並んで地域の A さんの畑まで行くことができました。

畑では、虫を見付けたり、お花を摘んだり、坂を登ったり下ったり、また登ったりしながら、ほっこり楽しい時間を過ごしました。
大好きなテントウムシもたくさん見付けました。



自分の力で頑張って登るのだ!





次は小学校まで歩きました。広い広い校庭をみんなでよーいドン!と走りました。向こうのシーソーまで!と走り出しました。小さな体で思いっきり走り、笑顔いっぱい、シーソーにたどり着きました。シーソーが大人気!かわりばんこしながら、たくさん遊んでにっこにこでした。



たくさん遊んで、たっぷり遊んで、幼稚園に帰りました。お外で食べたおにぎり弁当は、とてもおいしかったね。

交通安全教室でお勉強



郡山警察の警察官の方、交通指導員さん、交通安全母の会の方が来てくださり、クイズや手品、人形劇を交えて、楽しく交通安全や防犯についてのお勉強をしました。



横断歩道や踏切を渡る練習もしました。上手にできたら、メダルとおみやげをもらいました。

帰りはお家の人とちゃんと手をつないで帰りました。お勉強したことも道路でやってみました。警察官や交通指導員さん、交通安全母の会の方が見守り、声をかけてくださっていました。



ジャガイモいっぱい!



冬に植えていたジャガイモを掘りに地域の A さんの畑に行きました。
畑に入っていくと、たくさんのカエルたちが飛び出してきて、みんな大喜び!

茎をしっかり握って引っ張ると、土の中からきいろいジャガイモが顔をだしました。
とっても大きく立派に育ったジャガイモもありにっこり顔。
かくれんぼしているジャガイモも、最後までしっかりと見付けていました。あちらこちら掘っていく子どもたちの手は
まるでモグラさんのようでした。

トライに集めたジャガイモ。「重い〜」と言いながらもみんなで力を合わせて幼稚園まで持って帰りました。



大・中・小に分けたジャガイモを大きい組さんが数えました。全部で506個!本当にたくさん獲れました。

獲れたジャガイモをどうしようか、考えました。
真っ先に出たのが「持って帰る!」 昨年まではコロナ禍で、幼稚園で食べるということが少ししかなかったからです。
幼稚園のみんなで楽しめたらいいな、と提案し、リーダーのすみれ組は考えました。
「食べる!」「どうやって?」……。考えます。「味噌汁!」他の方法も考えます。「カレー」「カレーはいらん」「なんで?」「好きじゃない」「ぼくもいらん」「幼稚園みんなのこと考えてね」「ポテト」「ポテトサラダ」。
「じゃあ、人数で決めたら?」と言う子がいたので、多数決で手をあげると、カレーとポテトが半々でした。
なので、カレーとポテトにすることにしました。そして少しだけ持って帰ることにしました。

お買い物の相談もして、みんなで食べるのが楽しみになりました。